

ことばとこころの教室カナデル オンライン勉強会

**本当の成長って何だろう？
— 就学前に育てたい「非認知」 —**

大六一志
於オンライン
3/25/2023 20:00-21:00

1

**はじめに
— 知能や学力では予測できない未来 —**

- 正しいトレーニングを実施しているはずなのに、成果がいまひとつ。
- 正しいトレーニングをやろうとしても、子どもにやる気が見られない。
- 子育てハウツー本の通りにやってみたが、成果がいまひとつ。



そんなときに考えるべきことを、お話します。
※障害の有無にかかわらず、人間に普遍的に必要なことの話です。

2

よくある相談 どう考えますか？

【Aさん5歳の母親談】自分はパズルとか図形問題とかが苦手だったので、この子は苦手にならないよう、早めにトレーニングをした方がいいと思って、幼い頃からジグソーパズルを与えた。しかし、全く興味を示さないし、やらせると嫌がる。どうすればいいんだろう？

- パズルや図形を解く能力は遺伝する。この子はジグソーパズルは苦手なんだろう。あきらめた方がいい？
- この子の好きな絵のジグソーパズルにするといい？ たとえば、電車が好きなら電車のパズルを与える。
- ジグソーパズルができれば、ごほうびシールをあげるようにするとよいのでは？

3

よくある相談 どう考えますか？

【Bさん8歳の父親談】集団行動に慣れさせようと思ってサッカークラブに入れたのだが、運動音痴なせいかな本人は毎回行くのを嫌がっている。しかし、連れて行くと子どもどうしのかかわりが見られるし、楽しんでいるようにも見えるし、帰るときも「次は行きたくない」とは言わない。このまま続けさせてよいのだろうか？

- 集団行動が苦手で、かつ、運動音痴であるとする、サッカーは難易度が高すぎる。早く辞めた方がいい？
- 一度始めたことを途中で投げ出すようでは忍耐力が身につかない。本人が嫌だと言うまであと数年続けるべき？
- サッカーに行ったら、ごほうびシールをあげるようにするとよいのでは？

4

認知

- ジグソーパズル、サッカー、体操、水泳、読み書き、算数など、成否が明確なもの、結果が直接的に数値(得点)として示され優劣が評価されるものを「認知」という。
 - 知能や学力は「認知」
- 読み書きや算数ができてほしい、いい成績をとってほしい、あるいは運動が上手に出来て欲しいというのが親心であるが....

5

非認知

- 心理学はむしろ“非認知”の成長に注目している
 - 自己に関する心:自尊心、自制心(感情の管理)、グリット、自立心
 - 社会性に関する心:心の理解、共感性/思いやり、協調性(他者との協働)、道徳性/規範意識
 - 長期的目標の達成(OECDレポート, 2015)
- “非認知”は(間接的に数値で評価されることはあるが)直接的に数値として示されるものではなく、また、優劣よりは到達度が重要。
- “非認知”こそ“認知”成長の原動力
 - 健全な“非認知”こそがたくましい“認知”をもたらす。(ついでながら、学校の教育内容も、非認知重視にシフトしつつある。)

6

どうすれば育つ？ 非認知

- 体験から学ぶ
 - 量より質(内容)、必ず教訓を得る、次の目標をもつ
 - 自分で解決する(大人はそのためのよいヒントを出す)
 - (現実世界での成功を望むなら) 仮想世界ではなく現実世界での体験を
- 大人との安定した関係
 - 家庭で(アタッチメント)、家庭外で(信頼関係)
 - 子どもが「理解された」「認められた」「ねぎらわれた」と実感できる関係
 - 声をかけるだけでなく、話を聞く
 - ほめるのが苦手なら、「ありがとう、たすかったよ」

7

どうすれば育つ？ 非認知

お母さんが自家用車をガレージの壁にこすってしまい、悲しい顔で車のキズを見ていました。すると5歳の子どもがやってきて、「お母さん、ばんそうこう貼ってあげる」といいました。

お母さんはその子に何と言ったでしょうか？
(東京成徳大学菊池春樹先生の講座より)

- 子どもの気持ちを考慮しなければ
 - ばんそうこうでは自動車のキズは治らない
- 非認知を育てるためには
 - キズを直そうとする気持ちを尊重
 - 母をなぐさめようとする気持ちを尊重

8

どうすれば育つ？ 非認知

4歳の子どもが、てのひらに何かをのせ、もう一方の手でふたをして、お母さんのところに持って来ました。そして、ふたをとって、てのひらの上のものをお母さんに見せながら言いました。「ほら、虫ころした」

お母さんはその子に何と言ったでしょうか？

- 子どもの気持ちを考慮しなければ
 - 虫を平気で殺すなんて、サイコパスか？
 - 母は虫が嫌いなのに、イヤガラセか？
- 非認知を育てるためには
 - 興味深いものを母に見せようとする気持ちを尊重

9

どうすれば育つ？ 非認知

【Aさん5歳の母親談】自分はパズルとか図形問題とかが苦手だったので、この子は苦手にならないよう、早めにトレーニングをした方がいいと思って、幼い頃からジグソーパズルを与えた。しかし、全く興味を示さないし、やらせると嫌がる。どうすればいいんだろう？

- 子どもが自分で解決できるよう、大人はよいヒントを出す。
 - 難易度の調節、手本を示す、一部手伝う

10

どうすれば育つ？ 非認知

【Bさん8歳の父親談】集団行動に慣れさせようと思ってサッカークラブに入れたのだが、運動音痴なせいか本人は毎回行くのを嫌がっている。しかし、連れて行くと子どもどうしのかかわりが見られるし、楽しんでいるようにも見えるし、帰るときも「次は行きたくない」とは言わない。このまま続けさせてよいのだろうか？

- 子どもが自分で解決できるよう、大人はよいヒントを出す。
 - 苦手なスキルが分かっているなら、上達する方法を。
- ふりかえりをし、教訓を確認し、次の目標を持たせる。

11

おわりに

- 将来に備えて子どもにあれこれ習わせたいのが親心であるが...
 - 将来を考えるからこそ、“非認知”を育て、子どもの“いま”を充実させる必要がある。(将来のために“いま”を犠牲にするのではない)

12

参考文献

(非認知)

- (1) ボーク重子(2018)「非認知能力」の育て方:心の強い幸せな子になる0~10歳の家庭教育.小学館
- (2) 中山芳一(2018)学カテストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす.東京書籍
- (3) Tough, P.著、高山真由美訳(2017)私たちは子どもに何ができるのか:非認知能力を育み、格差に挑む.英治出版
- (4) Heckman, J. J.著、古草秀子訳(2015)幼児教育の経済学.東洋経済新報社
- (5) Mischel, W.著、柴田裕之訳(2015)マッシュマロ・テスト:成功する子・しない子.早川書房

(その他)

- (6) 本田秀夫(2017)自閉スペクトラム症の理解と支援.星和書店.
- (7) 井上祐紀(2020)ストレング・ストーク:行動の問題をもつ子どもを支え・育てる.日本評論社.